

Title	多言語翻訳 太宰治『黄金風景』 訳者・参加者一 覧
Author(s)	
Citation	多言語翻訳 太宰治『黄金風景』 . p.69-p.71
Issue Date	2012-11-19
oaire:version	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/32737
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

訳者・参加者一覧 Project Members List

テン アリナ Alina Ten

日本中古文学、七夕歌をはじめとする和歌の研究

「『後撰和歌集』における七夕歌」(『日本研究論集』4号、チューラーロンコーン大学・大阪大学、2011年10月)

ルーンピロム カナパット Kanapat Ruenpirom

大阪大学大学院博士後期課程 日本中世文学、軍記物語の研究

「延慶本『平家物語』における二位殿・平時子—苦悩の様相の平家一門の後世救済に対する役割—」(『語文』97号、大阪大学国語国文学会、2011年12月)、「真名本『曾我物語』における大磯の虎—苦悩の克服と愛執の様相—」(『詞林』49号、大阪大学古代中世文学会、2011年4月)、「真名本『曾我物語』における北条政子の説話—苦悩の克服の様相—」(『日本研究論集』2号、チューラーロンコーン大学・大阪大学、2010年10月)

モハンマド モインウッディン Mohammad Moinuddin

大阪大学大学院博士後期課程 日本近代文学、志賀直哉の研究

『Exploring the Idea of Self in Modern Japanese Literature — Reading the Masterpiece of Shiga Naoya “Wakai” —』(LAP Lambert Academic Publishing, Germany, October, 2012)「志賀直哉『流行感冒』論—「自己」と「他者」を中心に—」(『阪大近代文学研究』9号、大阪大学近代文学研究会、2011年3月)、「志賀直哉『十一月三日午後之事』をめぐって—他者へのまなざし—」(『日本研究論集』2号、チューラーロンコーン大学・大阪大学、2010年10月)

康盛国 (カン・ソンクック) Sung-Kook Kang

大阪大学大学院博士後期課程 日本近世文学、雨森芳洲・朝鮮通信使の研究

「雨森芳洲の漢詩観—『橘窓茶話』を中心に—」(『近世文芸』96号、日本近世文学会、2012年7月)、「雨森芳洲「少年行」と李白の詩」(『日本研究論集』4号、チューラーロンコーン大学・大阪大学、2011年10月)、「『雨森芳洲・鵬海詩集』諸本の考察」(『混沌』35号、混沌会、2011年12月)

金侖姫 (キム・ユニ) Yoon-Hee Kim

大阪大学大学院博士後期課程 日本近代文学、樋口一葉の研究

「樋口一葉『うつせみ』における狂気」『韓国日語日文学研究』(韓国日語日文学会 74-2, pp. 177-195, 2010年8月)、「樋口一葉『軒もる月』論—「十二通の文」との対峙—」(『阪大近代文学研究』10号、大阪大学近代文学研究会、2012年3月)、「樋口一葉『ゆく雲』論—「心かよは」ない文—」『語文』98号、大阪大学国語国文学会、2012年6月)

莊千慧 Chien-Hui Chuang

大阪大学大学院博士後期課程 日本近代文学、夏目漱石の研究

「漱石における心霊主義の受容—「哲学雑誌」を踏まえて—」(『阪大近代文学研究』10号、大阪大学近代文学研究会、2012年3月)、「『琴のそら音』—「法学士」の不安—」(「日本文学論集」6号、チューラーロンコーン大学・大阪大学、2012年10月)、「鷗外の怪奇小説—明治期の心霊学の流行との関連をめぐって—」(『待兼山論叢文学篇』46号、大阪大学大学院文学研究科、2012年12月)

張麗静 Li-Jing Zhang

大阪大学大学院博士後期課程 日本近代文学、谷崎潤一郎の研究

「谷崎潤一郎『不幸な母の話』論—「私」が捉える母子の関係—」(『阪大近代文学研究』7号、大阪大学近代文学研究会、2009年3月)、「谷崎潤一郎『少将滋幹の母』論—「筆者」による「不義」の擁護をめぐって—」(『日本研究論集』4号、チューラーロンコーン大学・大阪大学、2010年10月)、「〈母恋い〉の様相—谷崎潤一郎『少将滋幹の母』を中心として—」(『異文化コミュニケーションのための日本語教育(予稿集)』、高等教育出版社、2011年5月)

田泉 Quan Tian

大阪大学大学院博士後期課程 日本近代文学、大江健三郎の研究

「大江健三郎『奇妙な仕事』論—犬の表象をめぐって—」(『異文化コミュニケーションのための日本語教育(予稿集)』、高等教育出版社、2011年8月)「見るまえに跳べ」論—跳ぶことについて—」(『間谷論集』6号、大阪大学日本語日本文化教育センター、2012年3月)、「大江文学における重複と変容—「奇妙な仕事」と「死者の奢り」を中心に—」(『日本研究論集』2号、チューラーロンコーン大学・大阪大学、2010年10月)

李雅婷 Ya-Ting Lee

National Taiwan University Department of Japanese Language and Literature

日本文学・言語学の研究

合山林太郎 Rintaro Goyama

大阪大学大学院文学研究科講師 幕末・明治期の漢文学の研究

「森槐南と呉汝綸—1900年前後の日中唱和一」（『東アジア海域叢書第13巻—蒼海に
交わされる詩文—』、汲古書院、2012年10月）、「性霊論以降の漢詩世界—近世漢詩
をどう捉えるか—」（『日本文学』61巻10号、日本文学協会、2012年10月）、「幕
末の歴史人物批評—幕末昌平黌関係者の作品を中心に—」（『江戸の漢文脈文化』、竹
林舎、2012年4月）

平井華恵 Hanae Hirai

大阪大学大学院博士前期課程 日本近代文学、近代小説における装丁・挿絵の研究

本書の英語部分については、すべて、モハンマド モインウッディンによる校閲
を経た。また、表紙デザインは、平井華恵が担当し、全体の編集は、合山林太郎が
行った。

電子版について（2014年5月15日付記）

電子版をウェブ公開するにあたり、日本語テキスト（p5-6）、簡体中文翻訳（P8-9）
に修正を施した。